

成長したこととは？

今年最後の月になりました。「終わりよければすべてよし」という言葉がありますが、12月を気持ちよく終えることは、この1年をよい年であったと締めくくることにつながります。

この機会に1年間を振り返ってほしいと思います。3月に小学校を卒業し、4月に中学生となってから、楽しかったこと、苦しかったこと、さまざまな思い出が浮かび上がってくると思います。中学生として着実に踏み出すことができたでしょうか。学習や生活、部活動の取組などを振り返り、2023年をしっかりと締めくくりましょう。

学んだことを生かそう！

10月28日、創立40周年記念行事として、名古屋ハートセンター心臓血管外科部長の北村英樹様にご講演いただきました。中学生にも分かりやすいように、小学校、中学校、高等学校、大学、社会人時代と分けてどのように過ごされたか、北村様の生い立ちをお話していただきました。以下に、生徒が心に残った言葉と今後の生活に生かしていこうと考えたことを紹介します。

1組・・・「続けることも才能」

勉強でも仕事でも、基礎を固めることはとても大切だと感じました。また、これから社会に出ていくにあたって、信頼されなければ何もできないのではないかと思います。北村先生の友達は、努力したことを当然のことと考えていました。私は、こつこつ地道にやるのが苦手なので、まずは周りの信頼を得ることから始めていきたいと思いました。

2組・・・「毎日の一つ一つの積み重ねが大切」

今、無理に将来の夢を考える必要はなく、一つ一つの小さな積み重ねが後に大きな一歩になることがわかりました。今は、将来のために何ができるのかを考えて、一つ一つの努力を毎日一生懸命続けて、少しずつでも前に進んでいきたいです。

3組・・・「できない＝才能がないではなく、できない＝努力が足りない」

何事にも前向きに取り組んで、失敗した時は次失敗しないためには、どうしたらよいか改善点を考えたり、ポジティブに捉えたりすることも大切だと感じました。自分のベストを出すために、自分の体を毎日大切に、家族や周りの友達や先生、地域の方への感謝の気持ちを忘れず生活していきたいと思いました。

4組・・・「基礎をしっかりと、言い訳をしない」

努力がこれからの土台になることを学びました。才能は元からあるのではなく、努力こそが才能なのだ改めて感じました。「今日は問題集を〇〇ページやろう」と小さな目標を毎日立てることで、毎日コツコツ勉強していきたいです。また、不自由なく努力がどれだけでもできる今の自分の生活の尊さに気がきました。

5組・・・「失敗しても才能がないのではなく、努力が足りなかったと考える」

言い訳もできないくらい準備をしてベストを尽くしたいと思いました。失敗しても、努力が足りなかったただけから、もっと準備をしっかりすればできる可能性がまだあるかもしれないと考えたいです。テスト週間だけ頑張っただけではなく、毎日こつこつ復習して、テストのときに基本的なミスをなくしたいと思いました。

日常の1コマ (道徳)

「あなたならどうしますか」を読んで、いじめをなくすための行動や、その際に大切にすべきことを、登場人物の立場を自分に置き換えたり、被害者の気持ちを想像したりしながら考えを深めました。差別や偏見のないよりよい社会の実現のために、自分なりにできることや大切にすべき心情や態度について考えました。

【生徒感想】

困っている友達を見て見ぬふりをしないでおこうと思います。先生や家族に伝える勇気をもてるようにしたいです。また、自分と違う人を認めることが大切だと思いました。

「もったいない」を読んで、「もったいない」にこめられたさまざまな心を理解し、物的損失だけでなく、物にこめられた人の思いや時間などに対する感謝や敬愛の念について考えました。

【生徒感想】

最初は、「もったいない」は使えるものを捨ててしまったり、わざわざあるものを買直ししたりすることと考えていましたが、当たり前にある今の生活を価値あるものと気付いていないことが「もったいない」と思いました。今の生活を大切にしたいと思います。

お願い

三者懇談会が12月6日(水)～11日(月)に予定されています。2学期中の学校や家庭での様子について懇談をもちます。学習面や生活面でご質問がありましたら、お気軽に担任にお尋ねください。お忙しい中ではありますが、よろしくお願いたします。なお、新聞切り抜き作品が完成していない生徒は残って製作し、16時20分に下校します。